

検査成績評定項目別評定表(機械)

第2号様式の2

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施 工	施工管理		現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。
			施工関係書類が整理されており、現場で確認できる。(材料検査報告書、総合調整計画書等)
			産業廃棄物処理の書類が整理されている。
			施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。
			施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。
			他との調整は、十分に行っており、重要なものは記録している。
			契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。
			契約内容の変更について監督員と協議している。
			工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。
			工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。
			官公庁届出など必要関係書類が整備されている。
			関係法令に適合しているか確認を行い、公官庁と協議し適切に対応している。
			施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
			()
	評定点	/ () × 3) × 100 =	
管 理	品質管理		資材の品質 や形状・規格
			社内検査を実施し、記録が整理されている。
			承諾図書が整備されていて内容も適切である。
			耐震計算書、防振計算書、その他計算書等が整理されていて内容も適切である。
			構造上重要な部分の強度が確保されており、それを証明する資料が整備されている。
			防錆・防食・ 防水・区画
			品質管理に関する工事記録写真が整理されている。
			主要機器の工場試験記録が整理されている。
			水圧・満水・気密・絶縁試験など、施工の品質確認方法が適切である。
			水質・系統・流量及び機能など、試運転時の確認方法が適切である。
			速度・積載量・機能など、試運転時の確認方法が適切である。
			機器・器具の動作確認、運転調整記録、測定記録などが整理されている。
			品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
			()
	評定点	/ () × 3) × 100 =	

検査成績評定項目別評定表(機械)

第2号様式の2

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施	出来形1 共通部分		各材質・規格及び寸法は設計図書に適合している。
			機器(ポンプ、空調機等)、その架台などの仕様・数量に問題がない。
			機器、その架台などの取付け方法が適切である。
			貫通部の処理など、他との接点部分の施工が適切に行われている。
			塗装・防錆などの仕様・施工箇所及び範囲が適切である。
			外部から明視できない部分の出来形を、写真その他記録等で確認できる。
			漏水・異音・異常振動・保守不能など機能を損なうような異常がない。
			完了時総合試運転における試験、機能確認内容が、現場状況と一致している。
			諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。
			附属品・納入品が用意されており、リストも整理されている。
			撤去・改修部分が設計図書に適合しており、処置も適切である。
工	出来形2-1 管工事 ・給水衛生 ・空調換気 ・冷暖房 ・除害 ・水処理		器具(衛生器具、制気口、サーモ等)の仕様・数量に問題がなく、取り付けも適切である。
			配管・ダクト・電路などの仕様・工法・サイズが設計図書に適合しており、現場状況ともマッチしている。
			配管・ダクト・電路などの附属品(弁、ダンパー、可とう継ぎ手、計器、ボックス等)の仕様・サイズ・数量が設計図書に適合しており、取り付けも適切である。
			配管・ダクト・電路などの支持材の仕様・サイズ・支持間隔・勾配に問題がなく、堅牢確実に取り付けられている。
			配管の埋設深さ・埋設方法・勾配が適切である。
			各柵類及び蓋の仕様サイズが適切である。
			保温の仕様・厚さ・施工箇所の範囲が適切である。
			冷媒などの封入記録が整理されており、試運転前の作業と点検・確認が適切である。
			システム全体での機能確認・試運転調整の記録が整理され、検査時に確認できる。
理	出来形2-2 搬送機ほか ・エレベータ ・エスカレータ ・機械駐車場 ・水門 ・クレーン		構造体の構造・仕様・部材・組立寸法に問題がない。
			ロープ・シーブ・歯車装置・シャフト・配管など伝動部の仕様・サイズ・固定方法が適切である。
			制御盤・電路の取り付け・固定方法が適切で、堅牢確実に取り付けられている。
			付帯設備・装備品の仕様は設計図書に適合しており、固定方法も適切である。
			走行・可動部分と他との位置・離隔が適切である。また、安全上の配慮がなされている。
			调速・制動装置が確実に作動し、それが確認できる。
			リミットスイッチ・地震感知器などの安全装置は確実に作動し、それが確認できる。
			連絡・通報・計測・制御装置は確実に作動し、それが確認できる。
			試運転前の作業と点検・確認が適切である。
	評定点	／ (× 3) × 100 =	

検査成績評定項目別評定表(機械)

第2号様式の2

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施工管理	出来ばえ		使用者に対する安全性などに配慮がされている。
			運転操作、使い勝手に配慮がされている。
			耐久性及び機器などの更新が配慮がされている。
			保守・修繕・消耗品・部品取替などへの配慮がされている。
			細部に至るまで仕上がり状態は良好である。
			機器・器具の納まりがよく、他との整合が取れている。
			配管・ダクト・電路などの配置が適切で、納まり上無理がなく、他との整合が取れている。
			施工に統一性が見られ、ばらつきがない。
			表示・標識等が適切にされている。
			騒音・振動などが少なく、円滑な運転が確保されている。
			施工済み部分の養生が適切である。
			出来ばえ向上のための、創意工夫が見られる。
			()
	評定点	／ (× 3) × 100 =	

備考 1各評価対象項目は、良好(3点)・普通(2点)・やや不良(1点)・不良(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。

2 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)

$$(\text{評価した項目の得点合計}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$

3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。